

1 議 事 日 程

[平成28年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成28年2月25日

午後 1 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第49号 平成28年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第50号 平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第51号 平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第52号 平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第53号 平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第54号 平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について
日程第7 議案第55号 平成28年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第8 議案第56号 平成28年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	長谷川公成	議員
委員	堺剛	議員	委員	舩越隆之	議員
〃	木村彰人	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	有吉重幸	議員	〃	入江寿	議員
〃	笠利毅	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	宮原伸一	議員	〃	上疆	議員
〃	神武綾	議員	〃	小畠真由美	議員
〃	陶山良尚	議員	〃	藤井雅之	議員
〃	橋本健	議員			

3 欠席委員は次のとおりである（1名）

委員 村山弘行 議員

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（18名）

市長	芦刈茂	副市長	富田 讓
教育長	木村甚治	総務部長	濱本泰裕
地域健康部長	友田浩	総務部理事 兼公共施設整備課長	原口信行
建設経済部長	今村巧児	教育部長	堀田 徹
上下水道部長	松本芳生	総務課長	石田宏二
地域づくり課長	藤田 彰	市民課長	行武佐江
福祉課長	阿部宏亮	介護保険課長	平田良富
国保年金課長	高原清	社会教育課長	中山和彦
上下水道課長	古賀良平	施設課長	永尾彰朗

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会議務局長 今 泉 憲 治

議事課長 花 田 善 祐

書 記 山 浦 百合子

開会 午後1時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月14日、15日及び16日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第49号 平成28年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第49号「平成28年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（濱本泰裕） 議案第49号「平成28年度太宰府市一般会計予算」につきまして、お手元にお配りをしております当初予算説明資料に沿って説明をさせていただきます。

まず、1ページをお開きください。

ここに予算総括表と、下段に平成24年度から5年間の当初予算額の推移をグラフとして載せております。

一番上の一般会計、網かけの部分になりますけれども、平成28年度の一般会計予算総額は231億626万円となっており、前年度の実質的な当初予算であります6月補正後の予算と比較いたしますと、前年度予算には総合体育館整備事業費が計上されていたこともございまして、17億7,467万円の減額、率でいいますと7.1%の減となっております。

なお、今回の当初予算説明資料中の前年度、平成27年度の予算額につきましては、全て実質的な当初予算であります6月補正後の予算額としております。

これ以下は、特別会計となっておりますので、後ほど各担当部長からご説明をさせていただきます。

次に、2ページに歳入、款別の内訳を載せております。

まず、1款市税ですが、市税全体といたしましては、総額79億8,276万3,000円を計上しており、前年度と比較いたしますと1億9,780万3,000円、2.5%の増となっております。

市税の内訳につきましては、3ページに載せておりますけれども、個人市民税が景気が回復傾向にあることなどから、前年度に比べ9,724万6,000円、2.9%の増となっております。

また、固定資産税につきましては、前年度が3年に1度の評価がえの年度となっていたことから、4,939万1,000円、1.6%の増を見込んでおります。

また、歴史と文化の環境税につきましても、国内外からの来訪者の増に伴いまして、800万円、12.9%の増を見込んでおります。

2ページに戻っていただきまして、6款地方消費税交付金でございます。地方消費税交付金につきましては、平成27年度の決算見込み額をもとに、経済の好循環の影響も考慮いたしまし

て、前年度と比較し、2億9,000万円、34.1%の増を見込んでおります。

次に、10款地方交付税でございますけれども、地方交付税につきましては国において策定されます地方財政対策を勘案いたしまして算定しておりますが、平成28年度の地方財政対策では地方交付税全体として前年度比0.3%の減とされております。これに伴いまして、本市の地方交付税は平成27年度の決算見込み額をもとに算出した結果、普通交付税が前年度当初予算と比較いたしまして1億1,500万円、3.7%の増、同じく特別交付税が8,000万円、20.0%の減で見込んでいます。

次に、14款国庫支出金でございますが、前年度から3億8,419万4,000円、8.7%の増となっております。これは私立保育所整備に伴う交付金や生活保護費、障がい者自立支援給付費などの扶助費の財源となる国庫補助金の増によるものでございます。

次に、18款繰入金でございますが、前年度が総合体育館整備事業の進展に伴いまして、総合運動公園整備基金を繰り入れていたため、6億5,034万2,000円、63.0%の減となっております。

なお、平成28年度につきましても、当初予算で財源不足の補填としての財政調整資金の繰り入れは行っておりません。

次に、21款市債でございますが、前年度予算では、総合体育館整備事業の財源となる市債を13億1,480万円計上していたこと、また、史跡地公有化に伴う市債が前年度から3億5,000万円減額となり、6億5,000万円を計上していることなどによりまして、前年度から20億9,090万円、50.8%の減となっております。

なお、その他の市債の内訳につきましては、国分小学校増築に伴う市債が1億8,590万円、道路新設改良に伴う市債が1億2,990万円などがございます。

また、地方交付税の財源不足を補填する臨時財政対策債、一番下の段になりますけれども、これにつきましては、地方財政対策を勘案いたしまして、前年度より1億2,800万円の減、8億7,200万円を計上しております。

続きまして、4ページに移りますけれども、ただいまご説明を申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けて、その内訳を示しております。

自主財源の小計の欄でございますけれども、自主財源につきましては、基金繰入金の減に伴い、前年度から4億3,428万円の減額となっております。

また、依存財源の小計の欄、下から2番目になりますけれども、こちらの欄でございますけれども、依存財源につきましても、地方消費税交付金、国庫支出金は増となったものの、市債が大きく減額となったことから、前年度から13億4,039万円の減となっております。

次に、歳出のご説明をさせていただきます。

5ページには、歳出の目的別内訳を載せております。

3款の民生費につきましては、先ほど歳入の国庫支出金のところでもご説明申し上げましたが、私立保育所整備事業や生活保護費、障がい者自立支援給付費などの増によりまして、11億

4,168万3,000円、13.1%の増となっております。

また、4款衛生費につきましては、大野城太宰府環境施設組合、福岡都市圏南部環境事業組合負担金の減などによりまして、2億8,851万7,000円、15.1%の減となり、教育費につきましても、総合体育館整備事業、史跡地公有化事業の減などによりまして、23億8,633万9,000円、40.7%の減となっております。

次に、6ページには、歳出の性質別内訳を載せております。

一番上が義務的経費となります。このうち扶助費につきましては、生活保護費、障がい者自立支援給付費、子ども医療費などの増によりまして、6億6,667万2,000円、12.1%の増となっており、公債費につきましては、五条保育所や総合体育館整備に伴う市債の償還が開始することなどもございまして、1億864万3,000円、4.7%の増となっております。

次に、消費的経費でございますけれども、物件費につきましては、史跡水辺公園・総合体育館指定管理料やホームページシステム構築関係費などによりまして、1億2,514万3,000円、3.7%の増となっております。また、補助費等につきましては、目的別の衛生費のところでもご説明申し上げましたが、大野城太宰府環境施設組合、福岡都市圏南部環境事業組合負担金の減によりまして、3億1,120万8,000円、10.2%の減となっております。

次に、投資的経費でございますが、普通建設事業費につきましては、総合体育館整備事業、史跡地公有化事業、歴史まちづくり関連事業などの減によりまして、25億6,525万8,000円、48.2%の減となっております。

最後に、その他のところでございますけれども、繰出金でございますが、国民健康保険事業特別会計繰出金及び後期高齢者医療関係費などが増額となったことから、1億7,988万4,000円、8.8%の増となっているところでございます。

簡単ではございますけれども、歳出については以上でございます。

なお、これ以降、7ページから11ページまでは第五次太宰府市総合計画における目標別予算額及び目標ごとの主な事務事業につきまして、その事業内容等を掲載しておりますので、ご参照いただきますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私からの説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案50号 平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第50号「平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 議案第50号「平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算に

ついて」ご説明申し上げます。

予算書の243ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は90億4,008万7,000円となり、前年度当初予算と比較しますと7,147万9,000円、率にしまして0.8%の増となっております。

次に、248ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

1 款の国民健康保険税につきましては、平成28年度保険税率改定を見込み、また、平成26年度決算及び平成27年度の調定、収納状況を参考といたしまして、前年度比5.3%増の16億921万5,000円を計上しております。

2 款国庫支出金につきましては、基盤安定負担金等への振りかえによりまして、前年度から14.1%減の19億194万1,000円を計上しております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの前期高齢者の偏在による負担を財政調整するために、被用者保険等から社会保険診療報酬支払基金を經由いたしまして市町村国保に交付されるものでございます。平成27年度の交付状況を勘案しまして、8.8%増の21億1,502万4,000円を計上しております。

6 款共同事業交付金につきましては、共同事業に伴う福岡県国民健康保険団体連合会からの交付金でございまして、福岡県国民健康保険団体連合会の概算通知額に基づきまして、前年度から2.8%増の18億5,206万円を計上しております。

次に、250ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明いたします。

歳出の約6割を占めます2 款保険給付費につきましては、高齢化や医療技術の進歩に伴い医療費が増加しており、前年度から1.4%増の54億9,043万6,000円を計上しております。

3 款後期高齢者支援金等につきましては、75歳以上の後期高齢者医療に係る現役世代が負担する4割に相当するもので、前年度から0.2%増の9億9,031万6,000円を計上しております。

7 款共同事業拠出金は、保険給付費に対します保険者間の財政負担の平準化を図るための拠出金でございますが、前年度から0.6%増の19億6,460万1,000円を計上しております。

国民健康保険事業は、持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律によりまして、財政基盤の強化を図るため、平成30年度から都道府県との共同運営等、大幅な制度改革が予定されています。今後とも国の動向を十分注視しながら、医療費適正化の取り組み等を進めながら、国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第51号 平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第51号「平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 議案第51号「平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書の283ページをごらんください。

歳入歳出予算総額は11億2,990万円となり、前年度当初予算と比較しますと6,453万9,000円、率にしまして6.1%の増となっております。

予算書の286ページの事項別明細書をお願いいたします。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

1款保険料につきましては、前年度と比べまして6.4%増の9億3,058万4,000円を計上しております。

3款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金として一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度から4.4%増の1億9,925万9,000円を計上しております。

次に、同じページの下に欄の歳出でございまして。

歳入のほとんどを占めます1款総務費につきましては、保険料、広域連合事務費負担金及び保険基盤安定制度繰入金の増額によりまして、前年度から6.3%増の11億2,585万円を計上しております。

説明は以上になります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第52号 平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第52号「平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 議案第52号「平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の299ページをお願いいたします。

まず、保険事業勘定予算総額は47億4,122万1,000円となり、前年度当初予算と比較しますと5.0%、2億2,728万4,000円の増となっております。また、介護サービス事業勘定予算総額は4,093万8,000円となり、前年度当初予算と比較しますと21.9%、736万円の増となっております。

す。

保険事業勘定につきまして、310ページの事項別明細書をお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款保険料につきましては、65歳以上の1号被保険者保険料10億9,387万7,000円で、被保険者数の増加を見込み、前年度と比べまして1億271万5,000円の増となっております。

3 款国庫支出金は、前年度より4,416万5,000円増の9億4,014万3,000円、次ページの4 款支  
払基金交付金につきましては、各医療保険加入者の40歳から64歳までの2号被保険者保険料の  
交付金が主なものでございまして、1,802万6,000円増の12億6,168万円を計上しております。

次に、5 款県支出金は、前年度より3,516万2,000円増の6億8,677万2,000円、7 款繰入金に  
つきましては、2,734万2,000円減の7億5,831万2,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものについてご説明申し上げます。

318ページをお願いいたします。

1 款総務費につきましては、職員給与費、介護保険システム電算委託料及び介護認定審査調  
査等の予算としまして546万6,000円減の1億5,755万円を計上しております。

次に322ページ、2 款保険給付費は、歳出予算全体の約95%を占めており、対前年比5%、  
2億1,520万8,000円増の44億9,354万6,000円を計上しております。

308ページをごらんいただいでよろしいでしょうか。そちらのほうが見やすいと思いますの  
で。

308ページの歳出の総額のほうでご説明いたします。

308ページの今、2 款までご説明しましたので、3 款です。地域支援事業費におきまして  
は、1,767万6,000円増の8,653万8,000円を計上しております。

続きまして、介護サービス事業につきまして、350ページの介護サービス事業勘定の事項別  
明細書をお願いいたします。

歳入の主なものとしまして、1 款サービス収入は、ケアプラン作成に対します福岡県国民健  
康保険団体連合会からの介護予防サービス計画費収入の3,193万6,000円を計上しております。

次に、352ページの歳出でございしますが、1 款総務費は、ケアマネージャーの嘱託職員賃金  
など3,734万9,000円を計上しております。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第53号 平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算につい
て

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第53号「平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸
付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

地域健康部長。

○地域健康部長（友田 浩） 議案第53号「平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書は、355ページから367ページになります。

まず、予算書の356ページ、357ページをごらんください。

平成28年度歳入歳出予算の総額につきましては、歳入歳出それぞれ200万2,000円を計上しております。

予算書358ページ、359ページの事項別明細書をごらんください。

平成27年度当初予算と比較しまして、金額で20万7,000円の増額、率としましては11.5%の増となっております。

予算総額が増額となりました主な要因につきましては、平成28年度から住宅新築資金回収に係る法律相談などを行うため、弁護士事務所と委託契約を結ぶ委託料と、滞納整理のため住宅新築資金等貸付金審議会を開催するための委員報酬等でございます。

続きまして、予算書367ページをお願いいたします。

公債償還の現在高につきましては、平成26年度末で309万2,000円、平成27年度末で172万1,000円、平成28年度では144万7,000円を元金償還見込みといたしておりますので、平成28年度末で27万4,000円となる見込みでございます。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整や契約弁護士と相談を行いながら、滞納者対策を図ってまいります。

以上、よろしく審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第54号 平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、議案第54号「平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 議案第54号「平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の369ページをお願いいたします。

この特別会計は、筑紫地区4市1町で共同設置しております筑紫地区介護認定審査会の事業予算でございまして、2年交代で審査会の庶務を担当することになっております。平成27年度と平成28年度は、本市が庶務担当市として本特別会計予算を設けております。

本審査会では、40歳以上の介護保険被保険者の方が介護サービスを利用するために、本人の能力、介護の方法、障がいの現象の有無といった3つの評価軸をもとに、介護の度合いを示すため、介護保険法に基づき、要介護状態区分を決定しております。

歳入歳出予算総額は、7,637万3,000円を計上しております。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

374ページをお願いいたします。

1款分担金及び負担金の7,633万8,000円につきましては、ほとんどが4市1町からの負担金でございますが、平成28年度に各市町で見込まれます審査の対象件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割を計上しております。

審査件数につきましては、本市が3,099件見込んでおります。合計で、総審査件数が、筑紫地区1万5,803件を見込んでおります。

次に、376ページをお願いいたします。

歳出の主なものについてご説明を申し上げます。

1款1項総務管理費は、事務局の業務を行う職員の人件費、審査会システム費用など2,601万8,000円を計上しております。

次に、1款2項認定審査会費につきましては、認定審査会委員の報酬及び費用弁償といたしまして4,935万5,000円を計上しております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第55号 平成28年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第55号「平成28年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 水道事業会計の予算書は水色の表紙になります。

それでは、私からは前年度との比較を中心に説明を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

4ページをお願いします。

まず、1款1項1目の給水収益でございますが、前年度から242万4,000円の増、伸び率でございますと0.2%となっております。見てのとおり、増加額としては少ないわけでございます。これは、平成27年度当初予算の見込みの段階におきまして、これまでの調定件数の伸び率をもって給水収益を算定しておりましたところ、思いのほか節水が進んでおりまして、3月補正予算に計上しておりますように、額にして1,300万円、率にして1.1%程度の減少となる見込みがございます。したがって、平成27年度の当初予算で見込まれた伸びが減少するということにな

るわけでございますが、3月補正後の数値と比較いたしますと、伸び率は1.33%と、1%ラインは確保されております。今後の収支見通しといたしまして、下方修正を行う程度のものではないと考えているところでございます。少し長くなりましたけれども、この点、ご理解をいただきたいと思っております。

次に、2目のその他の営業収益が約1,200万円減となっております。これは、下水道使用料徴収事務受託料の減によるものでございます。

2項2目の加入負担金でございますけれども、減額の期間内に開発団地あるいは集合住宅等の加入が進み、一定落ちついてきていることを踏まえまして、加入件数は前年度の3割減で見えております。しかし、本年度から基本単価の適用となりますので、収入額としては前年度の14.5%増、7,290万円を予定しております。

それでは、5ページをお願いいたします。

1款1項1目の原水及び浄水費が935万円の増となっております。これは、大山ダムの受水減免率が2割引き下げられ、80%となりますので、その影響によるものでございます。

なお、この減免率は、平成29年度まで適用され、減額期間の5年間が経過しますので、以後、廃止となります。

今後の収支見通しとしましては、厳しい状況と言わざるを得ませんけれども、これらを踏まえて経営努力を行っていく必要があると思っております。

次に、2目の配水及び給水費が約726万6,000円の減となっております。これは、8年ローリングで行っております量水器の取りかえ件数が、年平均3,000件に対しまして、今年度は1,700件と少なくなったことで、この取りかえに要する委託料と修繕費が減少しているものでございます。

次に、7ページの5目減価償却費が1,547万4,000円の減となっておりますけれども、これは耐用年数の経過によって生じる減少でございます。

次に、9ページの資本的収入でございます。

本年度は、消火栓の新設及び五条、芝原の雨水工事に伴います水道管の布設がえ工事負担金でございまして、合計684万6,000円を計上しております。

次に、10ページをお願いいたします。

2目配水施設費でございますけれども、金額としてはわずかに減少となっております。今年度の工事といたしましては、主に松川、観世音寺、都府楼、梅香苑地区の新設あるいは布設がえを予定しております。

配水施設改良工事7,262万4,000円につきましては、五条台の入り口に設置しております五条中継ポンプ所の更新工事が主なものとなっております。

4目の貯水施設費6,800万円は、松川ダムのしゅんせつ工事費でございます。工事は、農繁期を避けて11月以降と考えております。

説明は以上でございますけれども、これにより損益ベースで約2億2,000万円、長期前受け金

戻入を差し引いても約5,000万円の利益が生じるものと見込んでおります。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議案第56号 平成28年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第8、議案第56号「平成28年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 下水道事業は黄色の表紙になります。

それでは、水道事業と同じように、前年度との比較を中心に説明を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

4ページをお願いいたします。

まず、1款1項1目の下水道使用料でございます。

対前年度比では、約1,130万円、1%増の11億7,648万2,000円となる見込みでございます。下水道のほうは、水洗化率が96%を超えてきておりますので、例年の伸び率は0.3%程度のところでございますけれども、高雄地区にありますサンケア太宰府の接続が大きな収益増につながっております。

次に、2目の他会計負担金及び2項2目の他会計補助金につきましては、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金でございます。

次に、3目の長期前受け金戻入につきましては、平成27年度の工事において社会資本整備総合交付金を活用した固定資産の減価償却費見合いの金額が増加したものでございます。

5ページをお願いいたします。

収益的支出でございますけれども、下水道事業費用は前年度に比べて約1,300万円の減となっております。

まず、2目の流域下水道維持管理費でございますけれども、先ほど申しましたサンケアの接続によって、約720万円の増額となる見込みでございます。

次に、3目の業務費が約1,230万円減額となっております。これは、水道事業に委託しております徴収事務経費の基礎額が減少したことによるものでございます。

次の6ページの5目減価償却費につきましては、前年度の取得資産分の追加によりまして約1,500万円の増となっております。

7ページをお願いいたします。

2項1目の支払い利息につきましては、今年度はさらに約2,370万円の減となっております。今後も年々減少する見込みでございます。

次に、8ページをお願いいたします。

資本的収入でございますが、建設事業の主たる財源となる建設企業債と国庫補助金の収入予定額は、もう記載のとおりでございます。

他会計負担金につきましては、さほど変動はあっておりません。

受益者負担金、その他の負担金につきましては、5年分割での納入が多いわけでございますけれども、新たに賦課すること自体が少なくなってきたとおりますし、また、一括納入等もあって減少してきているものでございます。

次に、他会計補助金が約1,230万円の減額となっております。これは、平成16年度から10年間借り入れてきました資本費平準化債でございますけれども、その償還金の2分の1を一般会計が負担するというようになっております。今回、この補助金が減少いたしましたのは、償還が完済し、償還金自体が減少してきたということによるものでございます。

9ページをお願いいたします。

1目の公共下水道整備でございますけれども、今年度は芝原雨水幹線及び北谷、内山、大佐野地区の汚水整備を計画に沿って進めてまいります。

整備費は、前年度に比べ、約5,500万円の増となっております。

2目の流域下水道整備費につきましては、福岡県が行います流域下水道の事業費負担金でございます。

10ページをお願いいたします。

3目の固定資産購入費でございますけれども、これは、内山地区の汚水整備に伴います汚水管理施設用地の取得費一式でございます。

次に、2款の企業債償還金につきましては、約7,350万円の減となっております。企業債につきましては、元利ともに今後も減少をしていく見通しでございます。

説明は以上でございますけれども、これにより損益は約3億6,400万円、長期前受け金戻入を差し引いても、約1億円の黒字を見込んでおります。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

次回は、3月14日月曜日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午後1時37分

~~~~~ ○ ~~~~~